

## 中川 勲 議員（代表質問）

### 1 新型コロナウイルス感染症対策について

- (1) オミクロン株に対する市民への対策は。
- (2) 第6波に対する市民への防止対策のPRは。
- (3) 国では18歳以下の子どもに現金とクーポンを計10万円給付するとのことだが、当市はどうするのか。

### 2 今冬の除雪体制について

- (1) 今年1月の大雪を経験しての除雪計画か。
- (2) 昨シーズンの除雪の混乱の反省を踏まえての除雪計画か。除雪業者との話し合いはされたか。
- (3) 児童生徒の通学路の確保は万全か。
- (4) 当初予算が少ないのではないか。

### 3 県東部の警察署の再編について

- (1) どのような再編計画か。
- (2) 県との話し合いはされたのか。
- (3) 再編においても建設場所は市内を要望すべきと思う。市民が安全で安心して暮らせるのも警察署が市内にあるからだと思うが。

### 4 2022年度予算編成について

- (1) 現時点で最重点事業は考えているのか。

- (2) 新規事業は何か。
- (3) 議会の決算特別委員会が、今後改善を求める事項を提出したが、反映されるのか。
- (4) 財政状況はどのように考えているのか。
- (5) 市民の安全・安心に対する事業や要望する事業（例えば、ドックランコースやスケボー練習コースの建設）を最優先すべきと思うが。
- (6) 寄附していただいた滑川蒲鉾跡地の利活用に対する予算は考えているのか。

## 5 下水道工事残土の処理について

- ・ 千鳥スキー場に残土が入れられているが、安全性は大丈夫か。

## 竹原 正人 議員（代表質問）

### 1 新型コロナウイルス感染症対策について

- (1) 先の第3回臨時議会において、新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金並びに新型コロナウイルス接種体制確保事業費補助金が可決された。
  - ア 今後の3回目の接種のタイムスケジュールと対応について見解を伺う。
  - イ 1回目、2回目接種完了者の把握は。
  - ウ 未だ未接種の市民に対する対応は。
  - エ 3回目接種でのワクチンの交差接種に対する不安解消の対応は。
  - オ 夜間、休日のワクチン接種の対応は。
  - カ 前回の集団接種についての課題等を踏まえ、次回も実施予定なのか。
- (2) 市内公共施設における飲食を伴う会合等の感染対策について、しっかりと対応しているのか。
- (3) 9月定例会で上程されたPCR検査助成制度について、実績はどうだったのか。
- (4) 今後の取り組みについて
  - ア 今後イベント等における陰性証明やワクチン接種証明の発行など、市としてどう取り組んでいくのか。
  - イ 今後県外からの観光客を受け入れる体制について、どう考えているのか。
  - ウ ほたるいか海上観光の運航基準は決めているのか。

### 2 除雪について

- (1) 昨シーズンの除雪体制について良かった点、悪かった点を精査して、今年度の体制を整えたのか。
- (2) 除雪業者への固定費の支払いについて、今後の対応はどうなるのか。
- (3) 市所有の除雪機械について、来年度以降の更新スケジュールは。

### 3 子育て支援について

- (1) 国の18歳以下の子どもへの現金とクーポンの計10万円相当給付について  
ア 市として5万円の専決処分としたが、残りの5万円相当は、国の指示どおり、クーポンなのか。それとも現金給付なのか伺う。  
イ 児童手当の特例給付世帯への市として単独給付は考えていないのか。
- (2) 今定例会で、新型コロナウイルス子育て応援臨時交付金の内示に伴う財源更正が600万円あまり計上されている。更なる子育て支援策への流用は考えていないのか。

### 4 スポーツ振興について

- (1) 以前、総合体育センターアリーナの天井照明のLED化、床の修繕について、早期に改修できるよう検討したいとのことであったが、対応についてどうなっているのか。
- (2) 将来、滑川市からオリンピックに出場する選手が輩出されることを願っているところであると市長提案理由説明に明記されているが、願うだけでは結果は出ないと考える。具体的な対策とハード面、ソフト面での課題をどう捉え、スポーツ行政の推進につなげていくのか。

## 尾崎 照雄 議員（一般質問）

### 1 市職員の役割と働き方について

- (1) 市職員の時間外勤務の過去5年間の推移について
- (2) 定年前退職者の過去5年間の数について
- (3) 退職理由について
- (4) 市職員の年齢構成について
- (5) 過去5年間の中途採用の実績と今後の計画について
- (6) 地方公務員の定年延長に伴い
  - ア モチベーションが下がることはないのか。
  - イ 役職定年制の導入について
  - ウ 総人件費は増えるのか。
  - エ 条例改正の計画について

### 2 行政のDXについて

- (1) 組織体制の整備について
- (2) デジタル人材の確保・育成について
- (3) 計画的な取組について
- (4) LINEの活用について

### 3 通学路の点検について

- (1) 過去3年間の登下校中の小中学校生の交通事故の発生件数と事故の内容について
- (2) 文科省からの依頼に基づき通学路における合同点検が実施され、主な対策が検討された。
  - ア ハード面の対策が少ないのではないか。
  - イ 対策の検証をどうしていくのか。
  - ウ 定期的に合同点検していくのか。

#### 4 市民会館大ホールについて

- 平成 29 年 3 月定例会において、市音楽協会から提出された市民会館大ホールの建て替えの請願が賛成全員で採択された。その時当局から「積立金が 10 億円に達した段階で、総合的に勘案し決定したい」との見解が示された。10 億円に達した後の令和 2 年 9 月、そして、本年 9 月の定例会での一般質問に対して、当局の答弁は「建設費用として 30 億円程度を要す」となり、「具体的なスケジュールは、想定していない」となった。
  - ア 30 億円の根拠を示せ
  - イ 言行齟齬であり議会軽視ではないか。

## 青山 幸生 議員（一般質問）

### 1 地域コミュニティを維持することについて

- (1) 東加積小学校は小規模特認校制度となり、初年度は入学生を含めた制度利用児童は11名であったが、その後の進捗は。
- (2) 東加積小学校は現在2年生、3年生が複式学級となっている。学習状況に問題はないか。
- (3) 6月定例会では各小学校の半径1km以内で市道認定されていない道路を4mに拡幅し、市道に格上げするのはどうかとの質問をした。市長は「吟味をして、必要に合わせて順番に進めていくしかない」との回答であったが今後調査はしないのか。
- (4) 農業用排水施設の変更であって、施設の従前の機能維持を目的とする更新事業に係る農振除外の要件緩和についての6月定例会以降の県の反応は。

### 2 安定的な財源の確保に向けて

- (1) 今後の地方交付税の見通しはどうか。
- (2) 行財政運営に大きな影響を及ぼす国の施策や制度変更とはどのようなものを指しているのか。
- (3) 感染症の影響を鑑みると、本市における市税の大幅な増加は決して期待できないとの提案理由説明であったが、それは主にどの市税について言っているのか。
- (4) 今後滑川市として伸ばしたい市税はどの市税なのか見解は。

### 3 都市計画道路橋場国道線の整備について

- (1) 都市計画道路橋場国道線の整備について、進捗と開通予定は。

(2) 開通後の安全対策は何か考えているか。



#### 4 市民との対話について

- (1) 第5次滑川市総合計画を市民に分かりやすく伝える対策について伺う。
- (2) 滑川市独自の市民と対話会（ビジョンセッション）の開催を考えたらいかがか。
- (3) 市長の考えておられる「ウェルビーイング」をお聞かせ願いたい。

## 水橋 真治 議員（一般質問）

### 1 学校教育全般について

- (1) 学校でのコロナ対策はどのように行われているのか。また、家庭や関係機関とはどのように連携しているのか。
- (2) コロナ禍の中で、タブレット端末はどのように活用されているのか。また、タブレット端末活用の課題はないか。
- (3) 小中学校でのいじめの件数はどのくらいか。本年のコロナ禍の中でいじめ対策、道徳教育・人権教育は、どのように行われているのか。
- (4) 小中学校での不登校生徒児童数は増えているのか、減っているのか。適応指導教室や関係機関との連携等の対応はどのように行われているのか。
- (5) 体力テストの結果から、児童生徒の体力の向上へ向けて、どのように取り組んでいるのか。
- (6) 全国学力・学習状況調査の「課題の解決へ向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う」との設問に、児童生徒100%達成を目指すがあるが、どのように取り組んでいくのか。
- (7) 教員の超過勤務時間の状況はどのようになっているのか。働き方改革はどのように進んでいるか。
- (8) 小学校の高学年での教科担任制の実施についてはどのように進めているか。

### 2 大雪での安全対策について

- (1) 大雪での通学路除雪をどのように行うのか。
- (2) 大雪の場合、生徒の通学にコミュニティバスを活用することはできるか。
- (3) 除雪車が入りにくい道路について除雪することはできるのか。

### 3 空き家の安全対策について

- (1) 空き家の件数や現状はどのようになっているのか。
- (2) 空き家について近隣住民の不安を把握し対応しているのか。
- (3) 将来を見据えた空き家対策は検討されているのか。

## 大浦 豊貴 議員（一般質問）

### 1 滑川市職員人材育成基本方針について

(1) 本市では、人材育成の考え方として、職員の能力向上に向けた人材育成システムを「人事管理、人事異動、人事評価」と「職員の資質向上と意識改革」を柱に掲げ推進することで、自己啓発を支援し、職員のやる気と人間的な成長をより一層促進し、住民福祉の向上と市勢の進展に努めるとされる。職員人材育成基本方針は、平成 17 年に策定され 26 年に一部改正が行われ現在に至るが、人事管理の各システム運営と研究・検討を進めるとしていた見解について問う。

ア 人事管理、職員採用では知識偏重による筆記試験中心の採用ではなく、新しい職員像をイメージした知性、適正、感性等のバランスのとれた人材確保の進捗について問う。

イ 複線型人事制度の導入は、職員が、いくつかの仕事を経験した後、目指す方向がゼネラリスト（総合職）、エキスパート（専任職）、スペシャリスト（専門職）かを選択しキャリア形成できる人事制度を構築するためであり、ライン職を中心とする人材登用では職員に対応するポストの確保が困難であったが、複線型人事制度の導入によりそのポストの確保ができるのか。また、技術職員については、市全体にわたる視野をさらに養成していくために一般事務の部署への配置についても検討するとされたが、職務が多種多様化し、行政のスリム化を図る現状の中で、養成と人的資源のバランスに対する見解について問う。

ウ 本人やその家族が病気となったり、ポストに対する不安がある場合、職員に仕事上、極度の無理を強いることなく、能力を的確に活かすために有効な制度として、職員本人の希望により降格を申し出る希望降任制度の導入を検討するとされたが、見解について問う。

(2) 高度で専門的な知識・技術を要する業務や情報化、国際化等の業務については、正規職員を育成し対応するより、任期付職員の採用や外部委任等が効果的であることもある。弾力的な任用制度や人事交流、民間委託等についての見解を問う。

### 2 市有地・公有地売却について

(1) 滑川市公有地等売却促進協議会の設置効果・活動実態について問う。

- (2) 市有地・公有地等の販売価格について平成30年4月より価格を下げた物件もあるが、販売価格の見直し等に関する見解について問う。

### 3 空き家対策について

- (1) 空家等対策計画を推進するために基本方針・体制整備として民間事業者との連携、協力要請を図り継続的に空き家対策を協議する協議会等の設置があり、それに基づき、当局から要請した形で民間不動産事業者等からなる、なめりかわ街づくり協議会が本年11月に発足された。今後の連携・協力体制、期待する効果について見解を問う。
- (2) 空き家が発生し、その状態が長期化する要因や背景として、調査結果や指摘事項等の議論から法制度面において、固定資産税の住宅用地特例により除却が進まないとされている。経済的インセンティブや不動産の流動化を促す観点から、計画重点地域とする「用途地域内」における空き家除却に係る固定資産税の減免制度を検討できないか。

### 4 観光振興について

- (1) 観光振興におけるファムトリップや現地旅行会社等へのPR活動を実施しインバウンドの増加を図るとともに、台湾をはじめとしたインバウンド事業への積極的取り組みは、今後の感染状況を注視しながらも継続するのか。令和4年度予算要求状況を問う。
- (2) 総合計画・観光振興における基本施策の見直し結果、優先順位について見解を問う。

### 5 防災計画について

- (1) 避難勧告・指示の際は、一時避難所、避難場所、避難所の選定・指定が対象施設の安全確認をしながら決定される。大規模災害の発生により、住宅を失う被災者が多数生じる事態が考えられ、被災直後は避難所等で生活することになるが、生活が長期間にわたることは避けなければならない。長期とする避難所生活期間はどの程度と考えるか。また、避難所生活を送る被災者のストレスに対する見解について問う。
- (2) 応急仮設住宅の建設は、災害発生から原則20日以内に着工するものと

し、建設工事は県知事が直接建設業者へ請け負わせる方法で建設し、市長が委任を受けた場合は市長が実施する計画が組み込まれている。建設工事に係る県との連携を問う。また、原則として公有地とし、さまざまな選定基準が設けられているが基準を満たす適地度の高い公有選定地の見解について問う。

- (3) 死亡者が発生したときは、遺体の搜索、処理、埋葬又は火葬の各段階において遅滞なく処理し、人心の安定を図らなければならないが、遺体収容場所は原則として避難所施設等を除き、被災現場付近の公共建築物等の適当な場所とするが、避難所との用途の棲み分け及び、処理期間における衛生面の見解について問う。
- (4) 内閣府では福祉避難所ごとに、受け入れ対象者を特定し、あらかじめ指定の際に公示することにより、受け入れ対象者とその家族のみが避難する施設であることを明確化できる制度を創設することが適当であるとのことを踏まえ、令和3年5月に災害対策基本法施行規則及び「福祉避難所の確保・運営ガイドライン」等の改正が行われた。平時の取り組みなくして災害時の緊急対応を行うことは不可能であるとの認識から、福祉避難所についても、市町村を中心として、平時からの取り組みを進めることを強調している。本市の福祉避難所における平時からの取り組みについて見解を問う。
- (5) 災害規模等の予測も難しく、想定できないことも多岐にわたることも考えられる。緊急的な財政出動のための財源・財政調整基金等があるが、災害発生時における財政出動額の見解について問う。



## 谷崎 潤一 議員（一般質問）

### 1 新型コロナウイルス感染症対策における小学校、中学校の現状について

- (1) 滑川市内の小学校及び中学校の児童生徒の健康管理や心のケアの進捗状況はどうか。
- (2) 滑川市としては、コロナ禍における子どもたちの状況を理解しているか。
- (3) コロナ禍における令和元年度及び令和2年度の不登校の児童生徒の推移はどうか。
- (4) 不登校の小学校及び中学校の児童生徒の教育状況はどうか。
- (5) 滑川市として、今後の不登校児童生徒への対応について

### 2 自然災害対策について

- (1) 備蓄倉庫の数は妥当か。
- (2) 仮設住宅の建設予定地は検討されているのか。
- (3) 指定された避難場所に、簡易的または本格的な備蓄倉庫の設置の検討はできないのか。
- (4) 小学校及び中学校の体育館に、エアコンを設置することを再度検討してみてもどうか。



## 高川 正樹 議員（一般質問）

### 1 中滑川複合施設について

- (1) 先の6月定例会において、国庫補助金の影響として、防災に係る社会資本整備総合交付金については、制度上、翌年度への繰越しは可能であるが、にぎわいに係る地方創生拠点整備交付金については、災害の発生などやむを得ない場合を除き、繰越しは難しく、本年度内での出来高に応じた交付金になるとのことであったが、工事の出来高における国庫補助金等、財源確保の見込みについて伺う。
- (2) 来年、9月の竣工時の飲食店舗の出店見込みを伺う。

### 2 ほたるいか海上観光について

- (1) 新型コロナウイルス感染症の影響により、流動的なことも考えられるが、現時点での予約受付開始時期、予約方法、観光船の定員など、概要について伺う。
- (2) ほたるいか海上観光に伴う、お客さんへのサービス等について伺う。

### 3 ウォーキングサッカーについて

- ・ 日本サッカー協会相談役の川淵三郎さんが滑川市に講演に来られ、その講演をきっかけに紹介いただいたウォーキングサッカーについて、2019年から川淵三郎杯として毎年大会を開催しており、今回で3回目となった。今後、更なるウォーキングサッカーの普及活動について伺う。



## 安達 真隆 議員（一般質問）

### 1 コミュニティバス事業について

#### (1) 運行について

- ア コミュニティバスの運行日を改正される予定など考えはあるか。
- イ 今までだと運休日は、年末31日、1月1日、1月2日しかないが、毎日運行では、修理修繕、整備管理が行き届かないのでは。
- ウ また、日曜日、祝祭日の、運行実績を見ると非常に乗車率が悪いので日曜日、祝祭日は運行をやめた方が良いと思うが。

#### (2) デマンド方式について

- ア 運行予定はあるか。
- イ 全部をデマンドにするとキャパが多すぎるので例えば1便、6便など利用率が低い便だけデマンドにする方法もあるが考えは。
- ウ デマンド方式にするとしても市独自の判断ではできないこともある。滑川市地域公共交通会議との連携も図って是非取り入れていただきたいが。
- エ 滑川市地域公共交通網形成計画は5年計画だが、あと1年で終わるので、来春から実証実験的に取り入れは可能か。

#### (3) 自由乗降について

- ・ バス停を増やすべきという話もお聞きしているが増やすのは経費のかかることもあるし、お年寄りなど利用される方からの意見も踏まえ考えると、自由乗降を検討された方が良いと思うが考えは。

#### (4) 整備管理について

- ア 今の状況では修繕費がかさんでいるので、運行業者に丸投げでなく、担当課の方でも整備管理者をきちんとおいて、車両の管理に努めてほしいが考えは。
- イ 仕様書、契約書などの中にも整備管理または修繕管理、保険関係、事故などの修繕・修理費の取り決めをもっと入れるべきでないか。

### 2 有害鳥獣問題について

#### (1) 有害鳥獣実施隊の育成について

- ア 今現在の隊員数は減少傾向にあり、市役所職員にわなの狩猟免許取得など協力いただいているが、銃免許取得の計画や他市では消防署職

員が所持しているところもあると聞いているが滑川市での考えは。  
イ 若者育成のためにもっと免許取得の助成金を上げるなどの考えは。

(2) 山加積・東加積地区におけるイノシシの被害について

ア イノシシ被害は水田などの被害が大きい。今の檻の数はまだまだ少ないのではないか。

イ また、檻ばかり増やしても管理する人の数も限られるが何か対策は。

(3) 滑川市上小泉旧国道8号のカラスについて

ア 電線にカラスが集って糞の被害はかなりあると思うが、地区的に銃を使った駆除対策は無理であるが、何か対策はあるか。

イ カラスの檻も少し増やす計画はあるか。

## 古沢 利之 議員（一般質問）

### 1 灯油高騰対策について

- ・ 生活に必要な灯油価格が高止まりしている。原油価格高騰対策に対して、国は特別交付税措置すると聞く。

- (1) 生活困窮者への灯油購入助成を検討しないか。
- (2) 福祉施設等の暖房費対策はどうか。

### 2 介護保険について

- ・ 8月からの制度改定で、負担が大きくなった利用者が多い。

- (1) 市内の利用者への影響は把握されているか。（金額、人数など）
- (2) ショートステイなどでサービスを減らす例もあると聞いているが、本市内の施設の状況はどうか。
- (3) 独自支援の考えはないか。

### 3 国保法 44 条による窓口負担減免について

- (1) 利用実績はあるか。
- (2) 周知は現行の手段で十分か。

### 4 無料低額診療について

- (1) 経済的な理由で医療にかかれない、相談事例等はないか。
- (2) 当該医療機関以外の調剤薬局での処方では「無料低額」の適用外になるか。

## 5 生産者米価下落について

- ・ 市独自の支援策は検討されていないか。  
来年の生産数量目標はさらに下がると報道されている。

## 開田 晃江 議員（一般質問）

### 1 医療の充実について

- (1) 子どものコロナワクチン接種について
  - ア 5歳～11歳の子どもたちのワクチン接種はいつごろからを予定しているか。
  - イ どのような接種体制を考えているのか。集団接種か医療機関での個別接種か伺う。
- (2) 市内の小児科医院が1箇所10月に閉院された。市として今後の対応をどのように考えているのか伺う。
- (3) 厚生連滑川病院に小児科外来を増やしてもらおう考えはないか。
- (4) 医療が充実していない自治体は、人口減少に対応していないとなり、魅力がない。厚生連滑川病院を支援する市民団体をつくり、開業医と厚生連滑川病院がしっかりとスクラムを組んで市民の医療窓口にしていく方策を考える時期ではないか、見解を伺う。
- (5) 市長が産科の医師を何とか滑川市へと奔走されているが、小児科の医師も大変少なくなっていると聞いている。富山県が行っているような奨学金を渡してでも、医師の確保に努めるべきではないか。滑川版医学部学生奨学金制度を新たに設けてはどうか。
- (6) 滑川市では病院でお産をすることができない。他の市町村で出産されるなかで、保健師の巡回も徹底していると考えますが、産後うつなどで特別なフォローの必要な人はおられるかどうか。富山市のまちなか総合ケアセンターへつなぐことなどはあるのか、ないのか。あれば何人か。

### 2 教育について

- (1) タブレット教育が進む中で、学校でのインターネットの通信速度が非常に遅い（時々止まる）と聞いている。滑川市の子どもの規模で（全部の学校で）どのくらいの通信容量が必要か。現在はその何%ぐらいの設定なのか。改善することは考えているかどうか見解を問う。
- (2) タブレットの授業中、すべての子どもたちがその画面を開いて学習し

ているか担任の教卓で確認できないと聞いている。それに代わるものもあるようにも聞いているが、通路の後ろから回り確認しているとも聞いている。時間もかかるので教卓の上で一覧でき、全員ができていることを確認して次へ進むためのアプリの導入を考えるべきではないのか。

- (3) 昨シーズンのように大雪になった時や災害のため休校になった時など、リモート学習をできるようにするため、各家庭でのWi-Fi設備は何%くらい整っているか。そのための調査や導入依頼などを行っているか。代替え用としてモバイルルーターを準備してあると聞いているが、SIMカードが必要とのことだが、いざというときにすぐ貸し出しできる体制は取れているのか。
- (4) 今年6月議会での小学校学校図書館の蔵書検索ソフト導入の質問に、すぐ対応をすとの答弁であった。この後、予算化されるか伺う。

### 3 交通安全について

- (1) 通学路の安全点検の中で市内に危険と感じる交差点は何か所あるのか。
- (2) 新しい道路ができることにより、新しい危険も生まれる。県道富山滑川魚津線と市道有金下梅沢線の交差する豊富産業さん横の交差点への信号機設置は、たくさんの人が待ち望んでいる。県警との交渉はどのようになっているか伺う。

### 4 農地について

- (1) 滑川市全体の放棄田はどれほどあるのか。5年、10年前から比べるとどのようになっているのか。対策はあるのか。
- (2) 田んぼで米を作らないなら、市が依頼して給食用の野菜作りに方向を変える考えはないか。安心・安全な『無農薬・減化学肥料』を売りにして、子どもたちに食材として提供できないか。『滑川ひかる市』へ行ったらたくさんの無農薬野菜が出品されていたが、新しい農地の活用には有機野菜栽培など市が奨励してはどうか。

## 原 明 議員（一般質問）

### 1 滑川市の下水道事業について

- (1) 滑川市内の下水道事業の進捗率はどうか。
- (2) 市内全域での下水道事業の完成はいつ頃となるか。
- (3) 下水道管渠の整備後の接続状況について
- (4) 最終処理施設について
  - ア 全市で供用した場合の処理は現状のままでできるのか。
  - イ 長寿命化対策や災害に対する対応はされているか。

### 2 野生鳥獣被害について

- (1) 滑川市での野生鳥獣による被害状況は。
- (2) 今後の被害防止対策について

### 3 今回の滑川市議会議員選挙を振り返って

- (1) 過去最低となった投票率をどのように分析し、どのような対策をするのか。
- (2) 18、19歳の投票率について
- (3) 市外にいる有権者の不在者投票の手続きと投票数について
- (4) 投票所入場券の発送について